

# 国際社会学部

## 岡田昭人



OKADA Akito

国際関係コース／世界各国／

比較国際教育学・異文化コミュニケーション

### 比較国際教育学・異文化コミュニケーションとは

専門は比較国際教育学と異文化コミュニケーションです。教育政策・改革、教育協力、異文化理解などを主な研究対象としています。比較国際教育学では、教育政策・改革を中心にして、様々な国や地域の教育システムの比較を通じて、教育の目的、組織、運営、評価に関する理解を深めます。国際的な視点を持ちながら、教育の普遍性や相違点を考察し、人々の対話と交流を重視します。また異文化コミュニケーションのスキルを養い、文化差から生じるの諸課題を理解し多様性の対応を探求します。グローバルな視野に立って、教育と異文化理解をより包括的かつ効果的に改善するための知識とスキルを学びます。

### 研究紹介

教育と平等の問題、発展途上国への教育協力、留学生教育などグローバルな視点で研究を行っています。世界の教育システムを比較し、教育格差の問題などを検討して解決策を提案します。

異文化コミュニケーションは、言語や文化の違いから生じる言語・非言語の諸問題を分析し、効果的なコミュニケーションスキルを明らかにします。アクティブラーニングを取り入れた新しい学習法の開発にも関心があります。

### 担当授業

- 比較国際教育学
- 比較映像文化論
- 比較文化論
- 異文化理解
- スピーチコミュニケーション

### 関連する分野

- 教育学
- 国際教育協力
- 異文化理解
- 留学生教育

### 出版物

教育学

- 『教育の機会均等』
- 『教育と国家形成』
- 『Japan's School Curriculum for the 2020s Politics, Policy, and Pedagogy』

異文化コミュニケーション

- 『オックスフォードの学び方』
- 『学びの呼吸』

#### 教育と国家形成 原書第2版

アンディ・グリーン 著  
岡田昭人 監訳 堀尾伸久 監訳



世界学芸出版



世界学芸出版



## 国際社会学部

# 比較国際教育学 異文化コミュニケーションゼミ



国際連合教育科学文化機関（UNESCO）

### どのようなゼミか

ゼミでは比較国際教育学の基本文献を協力して読みながら、近現代社会において起こっている教育に関連する諸問題について理解を深め、それらに対して世界各国でどのようにアプローチしているかを学びます。教育学の基礎理論を踏まえ、その応用として途上国への教育開発協力、ジェンダー問題、国際理解・平和教育、異文化コミュニケーションや日本語教育政策等の様々な理論へと展開して学びます。研究対象国の教育に関する歴史的な流れと、その背後に存在する政治・経済・社会的な要因を深く読める力を身につけていくことを目的としています。

ゼミでは演習という授業形式を通じて、論理的な思考、論拠の明確な議論といった、学問の基本となる技法を訓練し、各自の問題関心を学問的な問いに高める仕方を学んでいきます。欧米圏への交換留学を希望する学生、卒業後に国際機関や欧米圏の大学院等に進学を希望する学生には、英語によるエッセイや学術論執筆の基礎についても学習する場を提供しております。

本研究室は「教育」や「異文化コミュニケーション」などの分野に何らかの関心を持ち、そこにみられる様々な問題や重要性を「学問」として研究したいと願う人たちが集う場所です。すなわちグローバルな舞台で活躍する人材を志す学生に広く機会を提供し、かつゼミに集う人との自由で闊達な議論を通して知識を深めていく賑やかなサロン（交流場）といってもよいでしょう。

### 卒論

- 日本と各国の教育制度比較
- 教育と社会の関係性
- 発展途上国への国際教育協力
- 留学生の教育
- 異文化コミュニケーション
- 言語・非言語コミュニケーション
- アクティブラーニング



### おススメの本

- 荻谷剛彦『階層化日本と教育危機：不平等再生産から意欲格差社会へ』
- 杉本均, 南部広孝 (編集)『リーディングス 比較する比較教育学』
- エリン・メイヤー『異文化理解力（カルチャーマップ）』
- ジャンジャック・ルソー『エミール』